土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　その他河川 安芸矢野下川外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

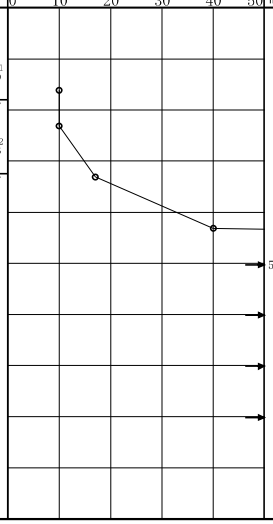
調査目的及び調査対象　砂防 構造物基礎

ボーリング名	B-3-No.1	**調査位置**	広島市安芸区矢野南四丁目地内			**北緯**	34° 20′ 11.4179″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2020年 11月 11日 ～ 2020年 11月 12日	**東経**	132° 31′ 55.1305″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 147.00m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
総削孔長	8.00m	**使用機種**	**試錐機** YBM-05D	**エンジン** ヤンマーNFD-7	**ポンプ** MS-513		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3	143.65	3.35		礫混じりシルト質砂		褐	rd2		新生代第四紀	φ=5～30mmの亜角礫を10～15%程度混入する。基質は未固結なシルト質粗粒砂～中粒砂よりなる。含水は小である。	11/11 1.80 ▽ 11/12 3.25 ▽
4	142.00	5.00		強風化花崗斑岩		褐			中生代白亜紀	土柱状コアを主体とし，指圧で砕ける。岩石組織は判別可能であるが，岩芯まで褐色化している。DM級岩盤。深度3.45m以浅はさらに脆く，局所的なDL級と推測。	
5	141.45	5.55		風化花崗斑岩		褐灰				固結マサ状コア主体。ハンマー軽打で濁音して容易に割れる。岩石組織は明瞭だが岩芯まで褐色化する。DH級岩盤。湧水はない。	
6	140.90	6.10		風化花崗斑岩		褐灰				短柱状～片状コア主体でコア肌はやや粗くハンマー軽打で金属音がする。高角度潜在亀裂が認められる。岩石組織は明瞭だが岩芯までわずかに褐色化する。CL級岩盤。湧水はない。	
7 8 9	139.00	8.00		花崗斑岩		褐灰				長柱状コア主体でハンマー軽打で金属音がする。岩石組織は明瞭。CM級岩盤。湧水はない。	

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
10	1.45	3	3	4	10/300		
10	1.75 / 2.15	3	4	3	10/300		
17	2.45 / 3.15	4	5	8	17/300		
40	3.45 / 4.15	9	13	18	40/300		
500	4.45 / 5.00	50/30			50/30	30	
	5.03 / 6.00	貫入不能			50/0		
	6.00 / 7.00	貫入不能			50/0		
	7.00 / 8.00	貫入不能			50/0		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					11/11
					11/12